

		令和3年度	科目名	数学演習			
教科	数学	科目	数学演習	単位	3単位	年次	3年次
使用教科書							
副教材	スタディサプリ(デジタル教材) 解法イメージトレーニング ランダム演習 数学 I A II B 標準編 (数研出版)						

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

自律した学習能力を身につけることを大切に授業を進めていきます。そのために受験勉強に真摯に、正面から、そして自らの意思で取り組んでいきましょう。数学 I A II B の基礎を含め、より共通テストを意識した内容を取り扱います。共通テストに向けて、どのような問題が出るのか、みなさん自身が把握し、制限時間内に問題が解けるようになるためにどれくらい数学力が必要なか判断できるようにしていきます。

みなさんをお願いしたいことは、① I A II B の復習を十分に行うこと、② 難しいと感じたら無理に進まず振り返って自分がかかるところまで戻ることです。このように丁寧に振り返って学習することで数学の世界を根本的なところから理解することができます。そのような理解は、他の科目や生活の中でもきっと役に立つと考えています。粘り強く一緒に学習していきましょう。

2. 学習の到達目標

年間の目標

① 学習の自律
 受験勉強も含め、自己の目標を実現するために学習計画を立て自らの意思で学習することができる。
 また、学習に対して自律した態度を身につけることにより卒業後も自らの意思で意欲的に学習できる素養を身につける。

② 数学に対する広い視野をもつ
 教科書に書かれている数学が、数学のすべてではなく、数学とは無限に広がる学問であり身の回りに活用されているものと深く理解する。

③ 共通テストに対応できる力をつける
 昨年度より施行された共通テストに対応するための思考力、応用力を育てる。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 数学的な技能	d: 知識・理解
観 点 の 主 旨	数学のよさを認識し数学を活用しようとする。また、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする。問題解決の過程を振り返り、考察を深め、評価・改善しようとする。自分の目標に対して、自分で計画を立て学習を進めることができる。 目の前の課題に対して(宿題)、ただこなすだけでなく自身の能力を伸ばすように積極的に取り組むことできる。	身の回りの事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。レポート課題等で、独自の視点から考察することができ、かつ数式や図を用いた数学的な表現が十分にできる。1つの問題に対し、複数の解答を示すことができる。	身の回りの事象や、数学特有の事象について、数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	数学における基本的な概念をさまざまな方法で表現する方法を理解し、説明しようとしている。また、数学的な概念を他者に説明する際、数学的な概念を用いて効果的に説明することができる。
評 価 方 法	・宿題の提出状況 ・スタディサプリの利用状況 ・学習態度(授業中の様子、予習復習の様子など)	・期末テスト ・小テスト ・レポート課題 ・探求的な課題	・課題提出 ・小テスト ・定期試験	・課題提出 ・小テスト ・定期試験

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	数と式 集合と命題	展開, 因数分解 集合, 命題	○	○	○	○		
5	2次関数 図形と軽量	2次関数 三角比	○	○	○	○		

6	データの分析 場合の数、確率	データ分析 順列、組合、確率	○	○	○	○	<p>基本的な知識が身につけている。 どのような場面でこれらの数学が活用されているか理解する。 積極的に学習に取り組んでいる。 各単元の繋がりを見出すことができる。</p>	<p>期末テスト 宿題 スタディサプリ 小テスト レポート提出</p>
7	図形の性質 整数の性質	平面図形 整数の性質	○	○	○	○		
9	式と証明 複素数と方程式	相加相乗平均 等式・不等式の証明	○	○	○	○		
10	図形と方程式 三角関数	図形と方程式 三角関数	○	○	○	○		
11	指数関数・対数関数 微分・積分	指数関数・対数関数 微分・積分	○	○	○	○		
12	ベクトル 数列	平面・空間ベクトル 等差・等比数列 群数列	○	○	○	○		
1	共通テスト演習	共通テスト対策演習	○	○	○	○		

※表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現 c: 技能 d: 知識・理解

※原則として一つの単元 題材 で全ての観点について評価することとなるが、学習内容 小単元 の各項目において重点的に評価を行う観点もしくは重み付けを行う観点 について○を付けている。